

付録1 プロフィットファースト クイックセットアップ ガイド

導入時：

1. あなたが現在口座を開いている銀行に5つの基本的な普通預金口座を開設します。
これを銀行1と呼びます。①売上入金用 ②利益用 ③オーナーの給料用 ④税金用 ⑤事業経費用
2. 別の銀行に2つの普通預金口座を開設します。これを銀行2と呼びます。この目的は銀行1からお金を借りたくなる誘惑を断ち切ることです。①利益用保存用 ②税金保存用
3. インスタントアセスメント利用してあなたのビジネスの目標配分比率(TAPs)を決定します。しかしまずは現在の配分比率(CAPs)からスタートします。それにより残りの残りの四半期において無理なく運用することが出来ます。

毎日やること：

1. 全ての売上やその他の収入を売上入金用口座に移します。
2. もし応用編で説明した預金口座を開設している場合、収入として受け取ってもそのまま支払うもの（交通費の補填、原価で商品提供など）は、それぞれの口座に移します。
3. 毎日数分間、銀行1の残高をチェックして、あなたのビジネス特有のキャッシュフローのトレンドを確認します。いつもこれを行い現状を知っておく必要があります。

毎月10日と25日：

1. 売上入金用口座に貯まった資金をあなたが用いている現在の配分比率に従って他の口座に移動します。
2. 銀行1の利益用口座の全ての資金を銀行2の利益保存用口座に移動します。同様に銀行1の税金用口座の全ての資金を銀行2の税金保存用口座に移動します。その結果銀行1の利益用口座と税金用口座の残高は0になります。
3. もし応用編で説明した預金口座を開設している場合、事業経費用口座から従業員の給料用口座などに移動します。
4. オーナーの給料用口座から、給料の支払いを受けます。オーナーの給料を支払って残った資金はそのままオーナーの給料用口座に残しておきます。
5. 事業経費の口座から支払いを行います。

各四半期：

1. 銀行2の利益保存用口座に貯まったお金の50%を利益の分配として受け取ります。このお金はビジネスオーナーのものなので決して事業に再投資してはならないことを銘記すること。
2. 銀行2の税金保存用口座から四半期の納税を行う。
3. 顧問税理士かプロフィットファーストプロフェッショナルと相談して、財務の健全度を最大化するために、あなたの利益、税金、オーナーの給料、事業経費の現在の配分比率(CAPs)を修正する、

毎年：

1. プロフィットファーストプロフェッショナルや税理士などの財務の専門家と一緒に財務成績をチェックする。
2. 金庫口座、退職金口座に資金移動するか、適切な資本投資を専門家に相談して行う。